付録1.障害表示一覧

Si-V730 では運用状態等の装置の状態をログに残すことができます。ログを確認するために は保守作業と同じように保守用パソコンから telnet でゲートウェイ装置に接続することによ って可能となります。以下の手順で操作することによりログの確認ができます。

remote[] cip> <u>elog —dsp</u>	ip> <u>elog -dsp</u> "elog -dsp"と入力し							
0001: 2000/02/01.14:40:23	*** 0501	LINKFLT	ALARM	[0000]	[800000000000000]			
0002: 2000/02/01.14:15:31	*** 0502	LINKFLTRCV	RECVR	[0000]	[000000000000000]			
remote[] cip>		\mathbf{i}						
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー							

〔ロギングコードと発生障害及びLEDの対応〕

障害	大分類	中	障害種別	LED(前面パネル)			パネ	ル)	障害発生後の動作	障害	ロギングコード
分類		分		Ρ	PCLSB		В		レベル		
ц ц		類		0	Н	А	Y	U			
۲				W	E	Ν	N	S			
ľ				R	K		U	ſ			
1	装置障害	1	カード間通信障害(固定)	-	赤	-	-	-	システムダウン、注	A	ICCFIXFLT
		2	DSP初期化失敗	-	赤	-	-	-	システムダウン、注	А	DSPINTFLT
		3	DPRAM障害	-	赤	-	-	-	システムダウン、注	А	DPRAMFLT
		4	CODEC再開完了待ちタイムアウト	-	赤	-	-	-	シス テ ムダウン、注	A	CDCTOUT
		5	筐体ファン停止	-	赤	-	-	-	<u>システムダウン</u> 、注	Α	FANFLT
2	重度一時障	1	カード間通信障害(一時)	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	ICCTMPFLT
	害	2	CODECコマンドノーアンサ	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	CDCTOUT
		3	イリーガルトラップ障害	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	ILLEGALFLT
		4	バリディティ障害	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	VALCC
		5	未定義CODECイベント	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	UNDEFEVFLT
		6	期待しなNCODECイベント	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	UNEXPEVFLT
		7	DSP障害	-	-	-	-	-	DSP 再開後、復旧 (呼継続)	С	DSPFLT
		8	筐体ファン障害(一時)	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	FANTMPFLT
		9	TTC-2M回線障害	-	-	-	-	-	再開後、復旧	В	TTCFLT
3	軽度一時障	1	RTCバッテリ電圧低下	-	-	-	-	-	なし	С	BATTERR
	害	2	CODEC回線障害	-	-	-	-	-	呼解放	С	CDCLNERR
		3	無通信監視エラー	-	-	-	-	-	呼解放	С	UCSPERR
		4	後位局起動不良	-	-	-	-	-	呼解放	С	SLAVEERR
		5	接確復旧不良	-	-	-	-	-	呼解放	С	CONERR
4	運用	1	Si-V730初期化完了	-	-	-	-	-	なし	R	TTC2MINIT
5	LAN障害	1	LINK障害	-	赤	赤	-	-	TTC回線閉塞	A	LINKFLT
		2	LINK障害復旧	-	-	緑	-	-	TTC回線復旧	R	LINKFLTRCV
6	再開	1	システム再開	-	緑	-	-	-	なし	R	SYSRST
		2	CODEC再開完了	-	-	-	-	-	なし	R	CDCRST
7	TTC-2M障害	1	AIS3障害	-	赤	-	赤	-	TTC回線閉塞	A	AIS3FLT
		2	AIS3障害復旧	-	消	-	緑	-	TTC回線復旧	R	AIS3FLTRCV
		3	MSYNC障害	-	赤	-	赤	-	TTC回線閉塞	А	MSYNCFLT
		4	MSYNC障害復旧	-	消	-	緑	-	TTC回線復旧	R	MSYNCFLTRCV
		5	FSYNC障害	-	赤	-	赤	-	TTC回線閉塞	Α	FSYNCFLT
		6	FSYNC障害復旧	-	消	-	緑	-	TTC回線復旧	R	FSYNCFLTRCV
		7	LOS障害	-	赤	-	赤	-	TTC回線閉塞	A	LOSFLT
		8	LOS障害復旧	-	消	-	緑	-	TTC回線復旧	R	LOSFLTRCV
障害	レベルの定	'義		A:	≠∎	訅復	iΠ				

A:手動復旧

B:定期リセット指示、システムダウンで自動復旧

C:警告または通知レベル

R:復旧したことを示します

注)保守者へ連絡し、装置全体又は保守部品との交換要否の切り分け作業となります。

付録2.コマンド概要

この章では Si-V730 のコマンド操作に関する概要を説明しています。個々のコマンドの内容に 関しては別冊の『GeoStream Si-V730 コマンド操作説明書』を参照ください。

1.コマンドの実行資格

1) ユーザモードの種類

Si-V730 装置の内蔵ソフトウェアには、コンソールからアクセスするユーザの資格を区別するために、以下の 3つのモード(ユーザモード)を提供しています。これらは telnet 接続時のコンソール画面に表示されるプロ ンプトによって識別することができます。

一般ユーザモード (remote[] cip>)

スーパーユーザモード (remote[] Super:cip>)

メンテナンス・ユーザモード (remote[] Mainte:cip>)

ユーザモードにおける各コマンドの実行資格を以下に示します。ユーザモードがからに移るほど使用可能 なコマンドが追加されます。



2) ユーザモードの移行

ユーザモード相互の以降は、コンソールからのコマンド投入及びパスワード入力によって行います。ただし、 メンテナンス・ユーザモードからスーパーユーザモードに移行することはできません。また、メンテナンス・ ユーザモードへ移行する際には、メンテナンス作業が「許可」に設定されていることを確認してください。メ ンテナンス作業の可否は、スーパーユーザモードで、mflagコマンドを用いて設定します。 なお、各モードで10分間キー入力が行われないと自動的に切断します。

2.コマンドの分類

コマンドの機能は次のように分類されます。

実行資格に関する操作 運用操作 / 動作状態表示に関する操作 構成情報に関する操作 ログに関する操作 ファイルに関する操作

3.コマンドの操作概要

1)コマンドの書式

コマンドは大きく分けて「コマンド名」「スイッチ」「インデックス」「設定値」の4つの部分からなります。 各コマンド共通の書式を以下に示します。

コマンド名

< - スイッチ1| - スイッチ2| - スイッチ3>

- <インデックス1|インデックス2|インデックス3>
- [< 設定値 a | 設定値 b | 設定値 c >]

コマンド名

コマンドの名称を英小文字で表します。

コマンドによっては、省略形を持つ物もあります。

スイッチ

コマンドの処理を切り分けるパラメータで、先頭が「-」で始まります。コマンド機能の基本 動作は、例えば開始 / 停止 / 表示等を指定します。コマンドによっては複数のスイッチを同 時に使用する場合もあります。

インデックス

コマンド機能を指示する単位(装置や回線)を指定するパラメータです。インデックスパラメ ータは、引数名(インデックス名)に続けて値を指定します。

設定値

コマンド機能を指示する単位(装置や回線)に対して、実際に各種詳細データの設定を行うパ ラメータで、引数名に続けて値を指定します。設定値パラメータは、スイッチあるいはインデ ックスの内容によって、指定可能な値が違う場合があるため、本書の投入条件に留意してくだ さい。

使用するコマンドによって引数の指定が有効 / 無効な物があります。

コマンド及び引数は、半角の英小文字・数字で入力してください。

コマンド実行中に強制終了を行う場合は、"Control"キーと"C"キーを同時に押してください。以下、「"Control+C"のキー操作」と記述します。強制終了を許容するコマンドについては次章以降の各コマンド機 能を参照してください。

ラインコマンドの場合、一行で入力できる文字数は128文字です。

2) 表記法

- { } 内の引数は、省略不可です。
- []内の引数は、省略可能です。
- <>内の引数には、値を直接入力するか、適した文字を指定してください。
- | で区切られた引数の場合は、その中からいずれかを指定してください。

3)引数定義

コマンドと引数との間、及び引数同士の間は1つ以上のスペースによって区切って入力してください。

4)コマンド入力の基本処理

• 実行結果の表示を行わないコマンドの実行に成功した場合、以下のメッセージを表示します。

Complete./Command OK.

• 間違ったコマンド名が入力された場合、以下のようなメッセージを表示します。

Input error!

入力したコマンドが存在しない場合に表示します。この場合はコマンド名を確認して、再入力 してください。

• コマンド名に間違った略名が入力された場合、以下のようなメッセージを表示します。

Ambiguous command.

入力したコマンドの省略形が正しくない場合に表示します。この場合はコマンドの省略形を確認し、再入力してください。

- 実行するためには引数が必須のコマンドで、実行時に引数が足りない場合に、または引数が多すぎる場合は、 "usage"を表示します。
- "usage"は、?コマンドでも表示することができます。これについてはコマンドヘルプとして次章以降に各コマンドの実行例を記載しています。
- "Control+C"のキー操作によりコマンドの実行中に強制終了した場合、以下のメッセージを表示します。
 Command aborted.

5)エラーメッセージ表示

コマンド入力時に誤ったパラメータを投入した場合は、コンソール画面にエラーを表示します。

6)コマンド使用上の注意事項

• telnet の異常切断について

telnetの異常切断後は、10分間再接続することはできません。

付録3.LANインターフェースの固定設定手順

Si-V730のLAN インターフェースは AutoNego を推奨していますが、下記の手順にて固定設定が可能となっています。

- speed(100/10)
- AutoNegotiation(enable/disable)
- duplex(full-dupurex/half-duplex)
- (1)Notepad 等の text エディタを開く
- (2) speed: 100 / Autonego: disable / duplex: full に設定する場合の設定例。
 - 下記の様に打ち込み、net.cfgというファイル名で保存する。
 - speed:100
 - autonego:disable
 - duplex:full
- (3)保守用 PC から ftp により接続を行う。
- (4) ディレクトリを flash ディスクに切り替える。

- (5)ローカルディレクトリを変更する。(c:¥bkup に net.cfg ファイルが格納されている場合の例) ftp>lcd c:¥bkup
- (6) バイナリモードに変更する。

ftp>bin

(7)保守用 PC から Si-V730 に net.cfg ファイルを転送する。

ftp>put net.cfg

- (8)bye コマンドで ftp を終了する。
- (9)保守用 PC から telnet により接続を行う。
- (10)コマンドプロンプトを確認する。
- (11)保守用 PC から RESET コマンドを投入する。
- (12)STATUS ランプが滅灯から緑点灯になることを確認する。
- (13) 保守用 PC から telnet により接続を行う。
- (14) コマンドプロンプトを確認する。
- (15)保守用 PC から info コマンドを投入する。
- (16)Speed 及び Duplex mode が設定した内容通りであるか確認する。

ftp>cd "/flash/"

付録4.保留音の入替え方法

V4 より Si-V730 が TTC-2M 側に送出する保留音をユーザ作成の WAV ファイルに変更が可能になっています。

Windows に標準添付されるサウンドレコーダにて下記条件の WAV ファイルを作成し、Si-V730 に FTP にて PUT する事により入替えが出来ます。

- [音源ファイル条件]
 - CCITT-µlaw
 - ・8KHz,8ビット モノラル
 - ・30 秒以内
 - ・ファイル名:usertone
- (1)保守用 PC から ftp により接続を行う。
- (2) ディレクトリを flash ディスクに切り替える。

ftp>cd "/flash/"

- (3)ローカルディレクトリを変更する。(c:¥bkup に usertone ファイルが格納されている場合の例) ftp>lcd c:¥bkup
- (6) バイナリモードに変更する。

ftp>bin

(7)保守用 PC から Si-V730 に user tone ファイルを転送する。

ftp>put usertone

- (8)bye コマンドで ftp を終了する。
- (9)保守用 PC から telnet により接続を行う。
- (10)コマンドプロンプトを確認する。
- (11)保守用 PC から RESET コマンドを投入する。
- (12)STATUS ランプが滅灯から緑点灯になることを確認する。

(注)入替えた保留音は装置リセット後に有効となります。

GeoStream Si-V730 取扱説明書 T101-0044 発行日 第4版 2003年7月 発行責任 富士通株式会社 Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、
 当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 乱丁、落丁本は、お取り替えいたします。